ZENRAKUREN
MEMBER'S INFORMATION 全酪連会報

嫁・婿が語る酪農の魅力
石賀 智美さん

ご当地牛乳・乳製品特集（福岡支所管内）

監査室だより
［第1回］これからの監査のあり方について
JA全国監査機構 監査企画部 担当部長
白石 幸人 氏　講演録

酪農トピックス／
千葉県みるく農業協同組合が設立される!!（東京）ほか
人事異動
酪政連活動報告
日本酪農見て歩紀（宮城県栗原市 佐々木純牧場）

5
2014 May No.584
全国酪農業協同組合連合会

次代を担う酪農家を目指して

嫁婿が語る酪農の魅力 19

5月の嫁　石賀牧場　石賀 智美さん

「嫁・婿が語る酪農の魅力」第19弾として、
石賀牧場の石賀 智美さんにお話を伺いました。

初々しい智美さん（25歳）が嫁いだ石賀牧場は、大山乳業農業協同組合（代表理事組合長　幅田　信一郎）に所属し、通称伯耆（ほうき）富士と呼ばれる鳥取大山の麓に位置しています。琴浦町は、北は日本海に面し、南は大山まで地図上では三角型を逆さにした形状の行政区域となっています。この地は、酪農はもとより芝生の生産も多く、一見するとゴルフ場の広大なグリーンがあちらこちらに広がっています。また、自然の地形を活用したグリーンエネルギーを生み出す巨大な風車が、海岸沿いを中心に林立している風景が異彩を放っています。

現在、牧場は義理の父・石賀英男さん（53歳）ご夫妻が経営を行っていますが、長男の潤一さん（25歳）と1年前にご結婚されました。

――石賀牧場の概要と智美さんの役割を教えてください。

石賀牧場は、搾乳牛60頭、育成牛30頭規模の経営を行っており、約11町の自給飼料畑にイタリアンとミレットを栽培しています。家族構成は、私たち夫婦、義両親の英男さん・伊津美さんと義祖父母の伊瑳夫さん・祥子さんの3世代家族です。他に主人の弟2人が県外にいます。牧場の仕事は、現在、義両親と4名で行っています。私は、搾乳と哺育を担当し、時には人工授精も行っています。主人は、搾乳とTMR作りを行っており、お義父さん（英男さん）は除糞や育成を担当しながら農業委員や大山乳業の役員も務めています。お義母さん（伊津美さん）は搾乳と経理全般を担っています。

私の1日は、牛舎に近い自宅から午前5時半から9時まで、午後は3時半から8時まで搾乳を中心に働いています。

――ご主人との出会いから結婚までの経緯について教えてください。

私は、出雲市の耕種農家の出身

イタリアン草地を背景に

ですが、子供の頃に生活協同組合主催の酪農体験に参加して、牛が好きになりました。地元の農業高校に進学し、酪農について勉強を始めました。高校卒業後に倉吉市にある鳥取県立農業大学校に進み、酪農に関する勉強を深めました。主人とは、農業大学校で出会いました。農業大学校を卒業後、出雲市内の酪農家に従業員として就職しましたが、1年前に結婚し、就農することとなりました。

ペットの山羊

ペット▶

▼衛生的なミルキングパーラー

コメント

子供の頃の酪農体験が、酪農に従事し、酪農家のお嫁さんになる道に繋がっていたことは、関係者の一員としてうれしい限りです。余談ですが、牧場体験等は酪農を身近に感じる良い機会であり、智美さんのような事例が増える事を願っています。

――結婚してから現在まで

結婚前は、従業員でもあったので休日を取れていたのですが、結婚し就農するにあたり、毎日牛舎で仕事をするものと覚悟はできていました。今は、月2回程ヘルパーに来てもらい、義両親との交代で休日も取れるので、無理なく仕事ができていて、とても感謝しています。

私が担当する哺育に関しては、仔牛の体温測定をして、ミルクの温度管理に細心の注意を払って、下痢に気を付けている所です。結婚してまだ1年と日も浅く、飼養管理も経営的な面でもこれからとの想いが強く、酪農に対する目標はまだはっきりと芽生えてはいませんが、今後経験を積んでから徐々に考えていきたいと思います。

――ご主人に対して一言

搾乳牛をよく観察していて牛の変化を掴んでいることに尊敬します。けれど、口数が少なく、1人で抱え込んでしまう時があるので、無理しないで何でも相談して欲しいです。

牛舎全景

コメント

若いご夫妻が、ご両親に助けられながらも酪農経営者として着実に成長され、次代を担う酪農家になられることを切に望みます。

島原牛乳

価　格：265 円（税別）…参考価格　**製造者・販売者：**島原地方酪農業協同組合
http://www.shimaraku.com/　問い合わせ先：0957-62-5201
購入可能場所：島原半島内、長崎市・諫早市の一部

アピールポイント

●当組合員だけの生乳（島原半島内）を使用しています。

内容量：1000ml　原材料（成分表）：生乳 100%

らくのうマザーズ阿蘇ミルク牧場　アイスクリーム・ジェラート 9 点セット

価　格：4,200 円（税込・送料込）**（ただし離島及び東北・北海道・沖縄は別途 500 円）**
製造者・販売者：株式会社マザーズファーム
http://aso-milk.jp/　問い合わせ先:096-292-2100（らくのうマザーズ阿蘇ミルク牧場）
購入可能場所：らくのうマザーズ阿蘇ミルク牧場

アピールポイント

●牧場内で飼育している五大品種乳牛（ガンジー、エアシャー、ホルスタイン、ジャージー、ブラウンスイス）から搾った生乳を使用し場内工場で製品化しました。

内容量：[アイスクリーム] バニラ（480ml、120ml）・チョコ（480ml、120ml）
　　[ジ ェ ラ ー ト] いちご（120ml）・ブルーベリー（120ml）・マンゴー（120ml）・抹茶（120ml）・蒸しイモ（120ml）※各1種類
主な原材料（成分表）：
　　[アイスクリーム] バニラ：生乳、乳製品、ぶどう糖果糖液糖、砂糖、水飴、卵黄等
　　チョコ：生乳、乳製品、砂糖、ぶどう糖果糖液糖、水飴、ココアパウダー、卵黄等
　　[ジ ェ ラ ー ト] いちご：生乳、乳製品、いちごピューレ、糖類等
　　ブルーベリー：生乳、乳製品、グラニュー糖、ブルーベリーソース等
　　マンゴー：生乳、乳製品、マンゴーピューレ、グラニュー糖等
　　抹茶：生乳、乳製品、糖類、抹茶等
　　蒸しイモ：生乳、乳製品、糖類、蒸しイモペースト、卵黄等

種子島 3.6 牛乳

価　格：271 円（税別）
製造者・販売者：南日本酪農協同株式会社　**http://www.dairy-milk.co.jp/**
問い合わせ先：お客様相談室（フリーダイヤル）0120-043-694
購入可能場所：主に鹿児島・宮崎県内及び関東の一部量販店など

アピールポイント

●暖地酪農パイオニア種子島の環境豊かな中で育まれる健康な乳牛から搾った、良質で新鮮な生乳を使用した成分無調整牛乳です。

内容量：1000ml
原材料（成分表）：生乳 100%

県酪のむヨーグルト&ミル黒酢（クローズ）セット

価　格：1,400 円（税込）　※郵送料は以下の通り（クール便）

	北海道	東北	関東	西日本	九州
郵送料	1,550 円	1,450 円	1,300 円	1,200 円	1,000 円

製造者・販売者：鹿児島県酪農農乳業株式会社　**問い合わせ先：0996-22-3278**
購入可能場所：製造工場より発送致します。（木・金 発送）

アピールポイント

●のむヨーグルトは、鹿児島県内産の生乳とあやむらさきいもを使用しています。
●ミル黒酢は、鹿児島県内産の新鮮な生乳と甑島（こしきじま）（薩摩川内市）の海洋深層水を使用したかめ壺仕込みの『うみの黒酢』を融合させた新しいドリンクです。スッキリとしたのみくちでお風呂あがりやスポーツの後に最適です。

内容量：のむヨーグルト 150ml × 5 本、ミル黒酢 130ml × 6 本
原材料（成分表）：[のむヨーグルト（いも）] 生乳、無脂肪牛乳、グラニュー糖、イモ粉末、脱脂粉乳、香料
　　[ミル黒酢] 乳、砂糖、米黒酢、脱脂粉乳、安定剤（ペクチン）、クエン酸

ご当地 福岡支所管内 牛乳・乳製品特集

日本各地に様々な種類がある牛乳・乳製品ですが、他地域でどのような商品があるかご存知でしょうか？ご当地でしか食べられない牛乳・乳製品をご紹介したい！と立ち上がったこの企画。最終となる今月号は福岡支所管内の商品をご紹介いたします。

ふくおか県酪パンナコッタ

価　格：2,450 円（税込）…**送料別・全国一律 900 円**
製造者：株式会社 弘乳舎　**販売者**：ふくおか県酪農業協同組合
問い合わせ先：092-431-7864（ふくおか県酪協 企画指導部）
購入可能場所：福岡県内のＡコープの一部、JA 農産物直売所の一部、当組合へ直接注文

アピールポイント

●原材料に福岡産生乳を使用しています。イタリア語でパンナ（生クリーム）コッタ（煮る）の名前のとおり、なめらかな食感の乳製品デザートです。

内容量：120g × 15 個入り（冷凍）
原材料（成分表）：牛乳、異性化液糖、クリーム、粉飴、砂糖、植物油脂、ゲル化剤、香料、乳化剤（原料の一部に大豆を含む）

伊都物語　牧場の朝コンパクトセット

価　格：4,100 円（税込・送料込）　**製造者・販売者**：株式会社　糸島みるくぷらんと
http://www.itomonogatari.com/　問い合わせ先：0120-86-1139
購入可能場所：当社通信販売にてご購入いただけます。

アピールポイント

●自然豊かな福岡県糸島地方にある中村牧場の生乳からつくりました。安定剤や酸味料は一切使わず、善玉菌の働きを活性化させるオリゴ糖入り。とろぉり濃厚な味わいです。
●プレーンヨーグルトは、生乳 100%。生乳本来の風味をお楽しみいただけます。また、料理などにも幅広くお使いいただけます。
●ミルクジャムは、時間をかけてじっくりとことことたきあげました。みるくの風味がぎゅっと濃縮され、白くひかる上品な味と香りに仕上がっています。パンにぬったり、デザートに添えたり、コーヒーに浮かべたりとお楽しみください。

内容量：のむヨーグルト伊都物語 900ml × 2 本
　　たべるヨーグルト伊都物語プレーン 450g × 1 個
　　ミルクジャム 190g × 1 個
原材料（成分表）：［のむヨーグルト］生乳、ぶどう糖果糖液糖、オリゴ糖、乳製品
　　［たべるヨーグルトプレーン］生乳 100%
　　［ミルクジャム］伊都物語牛乳、生クリーム、グラニュー糖

JA 牛乳さが生まれ

価　格：1000ml 236 円、200ml 80 円（全て税別）
製造者：佐賀グリコ乳業株式会社　**販売者**：佐賀県農業協同組合
http://jasaga.or.jp/　問い合わせ先:0952-71-9644（JA さが酪農指導センター）
購入可能場所：佐賀県内の量販店、コンビニエンスストア等

アピールポイント

●佐賀県内の酪農家から集めた生乳のみを使用した、佐賀県限定発売の佐賀が 100% 詰まった牛乳です。
（無脂乳固形分 8.4% 以上、乳脂肪分 3.5%）

内容量：1000ml、200ml
原材料（成分表）：生乳 100%

これからの監査のあり方について

全3回連載 第1回

JA全国監査機構 監査企画部 担当部長 白石 幸人氏 講演録

去る平成26年2月6日、福岡市において平成25年度全酪連定例研修会「監事・役職員研修会」が開催されました。この研修会では、全国農業協同組合中央会から講師を招き、JA全国監査機構監査企画部の担当部長白石幸人氏に「これからの監査のあり方について」と題し講演いただきました。

私たち酪農専門農協にとっても、監査の視点から組織運営の充実について考えることは大変意義のあることだと思います。監査室だよりでは、今月号から3回に分けて講演録の形でこの研修会の内容を紹介します。

Ⅰ 監事監査について

なお、ここでお話しする内容は、JAバンクアカデミーの黒羽氏の資料が出典となっています。JAバンクアカデミーとは、昨年から行われている研修の仕組みで、信用事業を行う農協の信用事業担当役員の方を対象とした集合研修ですが、そこでコンプライアンス研修を担当している黒羽氏が作られたものを使わせてもらっています。

理事の法的責任　4類型

監事監査についてお話しする前に、理事の法的責任について着目してみます。

(1) 理事等役員の責任の大原則

まず、理事等役員の責任の一般原則について見てみます。それは、次の3つです。

❶委任契約に伴う責任
❷任務懈怠による損害賠償責任
❸善管注意義務を果たす責任

❶委任契約に伴う責任

1つ目は、理事等役員は、委任契約 ― 経営の専門家・プロとしての契約 ― によって組合と委任関係にあり、「法令の範囲内で」「組合のために（忠実義務）」「最善を尽くす（善管注意義務）」ことが求められるということです。

❷任務懈怠による損害賠償責任

2つ目は、理事等役員は、故意又は過失による任務懈怠 ― わざと又はうっかりして任務を怠ったこと ― によって、結果的に組合に損害が生じたら、組合に対する損害賠償責任を負う（過失責任）ということです。

❸善管注意義務を果たす責任

3つ目は、善管注意義務ですが、これは、個人的な能力・経験に関係なく、役員になった以上は世間一般に求められる経営のプロとしての注意力を発揮しなさいということですので、「自分としてベストを尽くした」という言い訳は通用しないということです。

これらの原則は抽象的で、これだけではなかなか分かりにくいものですが、これを黒羽氏が分かりやすく整理したのが「理事の法的責任の4類型」として示した、4つのパターンです。

(2) 理事の法的責任の4類型

理事の法的責任には次の4つの類型があります。

❶具体的な法令違反
❷「経営判断の原則」からの逸脱
❸監視義務違反
❹内部統制システム構築義務違反

❶具体的な法令違反

1つ目は、当たり前のことですが、法令に違反しないことです。もし、違法行為を行って組合に損害を与えた場合は、当然、損害賠償の責任を負いますよということです。

❷「経営判断の原則」からの逸脱

2つ目は、「経営判断の原則」から外れ、内容やプロセスが著しく不合理な意思決定を行った結果、組合に損害を与えた場合は責任をとってもらいますよということです。

「経営判断の原則」とはどういうことかというと、

経営判断の原則

重要な経営判断をする場合は、「十分な情報を集め」「複数の案を比較検討し」「必要に応じ専門家の意見も踏まえ」十分に検討した上で意思決定を行ったのであれば、結果的に判断に失敗して組織に損害を与えた場合でも、法的責任（善管注意義務等違反）を問われない

という重要な原則です。「経営判断の原則」では経営責任は問われないとされていますが、一旦この原則から外れ、例えば十分な検討をせずに重要な意思決定をしたような場合には結果責任を問われることになります。

判例を見ても、「農協の理事が、（中略）融資の実行に当たって借主の償還能力や事業計画の合理性、実現可能性、担保評価の適切性等について**十分な調査、審議を尽くさないまま漫然と**承認・実行し、その融資金が回収不能となったときは、**理事としての善管注意義務等違反により農協に対する損害賠償責任を免れない**」という判決が実際に出ています。

その他、役員に責任ありとされた事例としては、「複数案での**比較検討・シミュレーションを実施**」**していなかった**場合、おざなりに「**形式的に対応**」していたことが明らかだった場合には、役員は責任を問われています。

さらに、これはある信金の事例ですが、取引先への土地購入・建物建築資金融資の判断に際して、下から上がってきた資料を**安易に信頼して**損害を与えてしまったことに対し、善管注意義務・忠実義務違反を問われた判例があります。役員には、「信頼の権利」といって、下から上がってきた案件を微に入り細に入りチェックしなくてもいい、ある程度下を信じてもいいという権利がありますが、この場合は、調査不足、情報不足が明らかだったにもかかわらず、差し戻しや再調査を指示することなく決定してしまったとして責任を問われたものです。

一方で、「専門家によるチェック」を受け、「先送りせず真正面から分析・判断」した場合などは、役員に責任なしとされています。

また、経営の思わしくない先に対し追加融資する場合は、支援する場合の**利益と**支援しない場合の**不利益を比較して、合理的に判断したかどうか**が問われることとなります。

このように、「経営判断の原則」を守っていれば結果責任は問われないが、「経営判断の原則」を逸脱すると責任を問われますよ、というのが2つ目の類型です。

❸監視義務違反

3つ目は、役員（理事）は、自分の担当分野だけをちゃんとやっていればいいのではなく、理事会の他のメンバー・理事がおかしなことをしていれば、それに「目をつむる」ことはいけない、監視義務―お互いを監視しあう義務―があるということです。これは、相手が代表理事や組合長といった組織のトップであっても同じです。

❹内部統制システム構築義務違反

役員（理事）は、内部統制のシステムを構築しなければならないと法令に書かれています。内部統制システムとは、

内部統制システム

法令定款違反・不正・不祥事・事故といった問題の発生を未然防止する仕組みのこと

と言えます。未然防止と言うと非常にハードルが高い印象ですが、未然防止と言わないまでも、そう

という問題が起こりにくくするような仕組みを組織の中にきちっと構築しなさいというのが内部統制システム構築義務で、それをちゃんと果たしていかないと責任を問われるということです。

これも判例があります。1つ目は、大和銀行NY支店で発生した職員による不正取引事件です。不正が起こったのは、取締役が不正を発見又は未然防止できる仕組みをあらかじめ作っていなかったからであるとして取締役が責任を問われました。

2つ目は、神戸製鋼において起こった総会屋利益供与事件です。総会屋との不正取引の情報は社長まで上がっておらず、社長は「私は知りませんでした」と主張しましたが、知らないことが罪だ、そういうおかしな情報がちゃんとトップまで上がる情報伝達の仕組みを作ることも内部統制システムの要件だとされ、社長が責任を問われました。

これに関連して、内部監査部門の整備をどう考えるかという問題があります。内部監査は監事監査と違い法律で定められているものではありませんが、経営者が整えるべき内部統制にとって大変重要な機能であり、内部監査がなかったために不正や問題が発生したとの批判や義務違反を問われぬよう内部監査機能の整備にも努める必要があります。

Ⅱ JA監事監査基準における業務監査

今述べた4つの類型が理事の法的責任とされていますが、では、監事の役割とは何でしょうか。それは、理事がこのような法的責任を問われることのないようにチェック・監視することであり、監事の役割は経営にとって非常に重要です。

全中では、そのことを「JA監事監査基準」として定め、農協の監事の皆さんに基本規程としてお示ししています。その中に、監事の職務として業務監査の3つの項目を織り込んでいます。

業務監査

- ○経営管理委員および理事の職務執行の監査
- ○内部管理態勢の整備状況の監査
- ○利益相反取引等の監査

「JA監事監査基準」には、業務監査において、**監事は理事の法的責任4つをきちっと見てください**ということが書かれています。

経営管理委員および理事の職務執行の監査

「JA監事監査基準」は、第1に一般基準（監事の心得）、第2に体制基準、第3に実施基準、第4に報告基準という4つのパートからなっていますが、第3の実施基準の中の「(1)経営管理委員および理事の職務執行の監査」の項目に、理事の法的責任4つの類型に関して監事のすべきことが書かれています。

(1) 理事の責任（義務の履行状況）の監視

そこには、監事の職務は、

- ○理事の意思決定の状況―「経営判断の原則」を逸脱していないか―
- ○理事会の監督義務の履行状況―監視義務を果たしているか―を監視し検証すること

また、

- ○内部管理態勢を適切に構築し運用しているか―内部統制システム構築義務を果たしているか―を監視し検証すること
- ○理事の法令違反―組合の目的外の行為その他法令もしくは定款に違反する行為―を認めたときは必要な措置を講じること

これらのことが監事の職務であることが書かれています。

このように「JA監事監査基準」において、監事は、理事が4つの類型の法的責任を果たしているかどうかを監視し検証すべきである、とされています。

(2) 日本監査役協会の基準

日本監査役協会が定める一般事業会社の「監査役監査基準」にも、「業務監査」の項目に「JA監事監査基準」と同じことが書かれています。一般企業の監査役も農協の監事も基本的役割は何も変わるところはありません。

また、日本監査役協会ではその基準の中に、業務監査の観点として、

取締役会等の意思決定の監査の観点

- ○事実認識に重要かつ不注意な誤りがないかどうか
- ○意思決定過程が合理的であるかどうか
- ○意思決定内容が法令又は定款に違反せず、通常の企業経営者として明らかに不合理でないかどうか
- ○意思決定が会社の利益を第一に考えてなされているかどうか

と定めています。これらは「経営判断の原則」を言い換えたものと言えます。

内部管理態勢（＝内部統制システム）の整備状況の監査

「JA監事監査基準」では、内部管理態勢に関する監査について、今述べた「第3実施基準」の「(1)経営管理委員および理事の職務執行の監査」の項目に挙げていますが、内部管理態勢の問題は非常に重要ですので、改めて「(2)内部管理態勢の整備状況の監査」として細かく記載しています。

❶内部管理態勢の構築・運用状況の監視・検証

そこには、監事は、理事が内部管理態勢の内容として最低限次の3点について適切に構築し運用しているかどうか、監視し検証しなければならないことが書かれています。

- ○理事・職員の職務執行が法令・定款等に違反しないための法令等遵守体制（コンプライアンス体制）
- ○組合の重大な損失の発生を未然に防止するためのリスク管理体制
- ○財務情報その他組合情報を適正かつ適時に開示するための体制

監事の皆さんには、これら3点について最低限チェックをお願いしたいということです。

❷理事からの定期的報告

また、監事は、内部管理態勢の構築状況および運用状況についての**報告を理事から定期的に**求めなければならないとされています。

❸内部監査部門等との連携・JA全国監査機構からの報告

さらに、監事は、**内部監査部門等との連携**および**JA全国監査機構からの報告**等を通じて、内部管理態勢の状況を監視し検証しなければならないとも記載されています。

利益相反取引等の監査

利益相反取引等の監査に関しては、法令遵守に含まれるものですが、これについても特に重要なものとして「第3実施基準」に「(3)利益相反取引等の監査」として別に項を立てています。

そこには、監事は、次の取引等について理事の義務違反の事実がないかどうかを監視し検証しなければならないことが記載されています。

- ○利益相反取引（理事と組合の取引は理事会の承認を受けているか）
- ○組合がする無償の財産上の利益供与（正当な理由のない多額の寄付金がないかなど）
- ○子会社もしくは組合員または会員との通例的でない取引

（次号に続く）

札幌支所発

森下智崇さん・雨田章子さんが代表に決定！
― 第42回北海道酪農経営発表大会 ―

３月27日㈭、札幌市「京王プラザホテル札幌」にて北海道酪農青年女性会議主催、第42回北海道酪農経営発表大会が開催され、全道より関係者合わせて50名が参加しました。

▲ 開会の挨拶をする引頭委員長

今年度は、経営の部で訓子府町の森下智崇氏、意見・体験の部で美瑛町の雨田章子氏の発表がありました。

経営の部では、森下氏が「こだわりのコンパクト経営で『強い酪農』をつくる」と題して発表を行いました。森下氏は現在33歳。学童保育の先生として働いていましたが、「実家を継ぎたい」という奥様の希望を叶え、５年前に横川牧場へ婿に入りました。全くの素人からの出発でしたが、持ち前の向上心で知識や技術を吸収し、試行錯誤を重ねて今では立派に経営に参加しておられます。限られた労働力と耕作地を十分に使うため、規模拡大にこだわらず、自給粗飼料100%で飼料価格の変動に影響されにくい「強い酪農」を目指しています。

▲ 森下智崇さん（経営の部）

▲ 雨田章子さん（意見・体験の部）

▲ 佐藤哲氏の講演会

意見・体験の部では、雨田氏が「価値を創る」と題して発表を行いました。雨田氏は山形県の非農家の出身。小さなころから牛乳が大好きで、牛乳、ひいては牛をもっと知りたいという思いから北海道の帯広畜産大学へと進学をし、卒業後、美瑛町の㈱美瑛ファームへと就職しました。美瑛ファームでは、放牧を主体としたジャージー牛の飼育に従事。牧場内に処理プラントが出来てからは乳製品製造管理者に携わっており、美瑛町で作った生乳から、日本一おいしい乳製品を創ることを目標に、日々努力を重ねておられます。

また、大会講演会では日本酪農政治連盟副委員長 佐藤哲氏をお招きし、昨今の話題の中心であるTPPに関連し、「今後の日本農業・酪農の展望について」と題して講演をいただきました。

審査の結果、経営の部では森下氏が、粗飼料の自給、牛づくり、省力化、努力の４本柱を掲げ、経験不足を努力と独自に作った「牛ノート」でまとめ、効率的に学習する姿勢で評価され、北海道代表として推薦されました。意見体験の部では、雨田氏が美瑛の乳製品を消費者に届けたいという思いを評価され、北海道代表に推薦されました。

お２人は、７月に仙台にて開催される第43回全国酪農発表大会に出場されます。　（T.K）

仙台支所発

東北代表は髙橋実さん・安達麻美さんに決定！

― 第43回　東北酪農発表大会 ―

３月24日㈪～25日㈫の２日間、山形県上山市「古窯（こよう）」にて、東北酪農青年婦人会議主催の第43回酪農発表大会が開催され、170名を超す参加者が集結しました。

半澤善幸委員長の主催者挨拶の後、来賓の農林水産省東北農政局生産部長 丸山惠史氏（代読：伊藤雅敏畜産課長）、山形県農林部長 若松正俊氏（代読：石川一夫畜産課長）と山形県酪農業協同組合代表理事組合長 原田陽一氏からご祝辞を頂き、発表に入りました。

経営の部では、「『ピンチ』を『チャンス』に～資源循環型酪農を中心とした地域農業の担い手として～」と題して齋藤常浩氏（みやぎの酪農青年部・婦人部）、「わが人生一つ一つのつみかさね～酪農と消費者を結ぶ白い牛乳～」と題して浪岡泰博氏（福島県酪農青年研究連盟）、「牛と共に歩む魅力ある酪農経営を目指して」と題して髙橋実氏（山形県酪農青年婦人会議）の３名が発表しました。

大学卒業後飼料メーカー勤務の経験を持つ齋藤氏は、草作り・牛作り・土作りを３本柱の基本として飼料増産組合を設立し、堆肥利用による資源循環型農業の実現を中心に発表されました。

20年間牛乳宅配を続け、近隣へ牛乳の良さをアピールし続けている浪岡氏は、牛群検定情報を活用した牛作りのアドバイスをきっかけに、牛群の改善や牛舎環境の改修を計画的に進め、確実に牛群の改良が進んでいく手ごたえを中心に発表されました。

▲ 山形県　髙橋実さん（経営の部）

将来は奥さんと一緒に農家民宿の経営を目指している髙橋氏は、永続的なバランスの良い経営のため、質と量にこだわった自給飼料生産への取り組みや、乳質改善のための山酪HACCPゴールド認証への取り組みを中心に発表されました。

▲ 宮城県　安達麻美さん（意見・体験の部）

発表された３名はいずれも優れた内容でしたが、今後の生産性の高い安定的な経営を考慮し、良質な生乳生産のために、健康な牛作りとして長命連産を目指した牛群改良に積極的に取り組み、牛群の斉一化を図りつつ高い泌乳成績と繁殖成績を確保し、さらに消費者目線に立った衛生的な生乳生産を実践している点が高く評価された髙橋実氏が最優秀となり、全国大会へ出場することとなりました。

続いての意見・体験の部では、「Show Must Go On ～福島の復興の為に～」と題して田中一正氏（福島県酪農青年研究連盟）、「自分なりのライフスタイルを目指して」と題して佐藤範幸氏（岩手中央酪農青年婦人会議）、「夢の実現！そして創造の輪へ」と題して安達麻美氏（宮酪青年婦人連絡協議会）が発表しました。

田中氏の発表は、入植して10年目で震災に遭い、その後３度も住居を変えざるを得ない生活を余儀なくされる中、今日に至るまでの人との繋がりを深く感じさせる内容であり、続いての佐藤氏の発表は、就農後に感じた様々なジレンマとの戦いから親兄弟とのコミュニケーションの大切さを知り、その中から自分なりのライフスタイルを見出す努力と発展性を感じさせる内容でした。最後の安達氏は、何よりも牛が好きであることに加え、自ら立ち上げた『酪農ガールズ』のさらなる発展を見ることができる発表でした。

以上３名の発表者の中から、東北代表は安達麻美氏に決定し、全国大会へ出場となりました。

（I.M）

仙台支所発

「畜舎環境美化コンクール」開催
― みやぎの酪農婦人部 ―

畜舎前に色とりどりの花が並ぶ ▶

みやぎの酪農農業協同組合（濱田茂代表理事組合長）において、平成25年度「畜舎環境美化コンクール」の審査会が開催され、その表彰式が3月10日㈪に行われました。

年度当初に全組合員に配布された花の苗を基本に、奥様方はそれぞれの個性を取り入れながら色とりどりの草花を丹念に育て上げ、見事に飾り立てられた牛舎周辺の風景を収めた写真を一堂に集め、その美しさが競われました。

▲ 最優秀の須藤しづ子さん

総出品数23点の審査には、宮城県畜産課草地飼料班 半沢技術補佐、濱田組合長をはじめ18名の審査員があたりました。

最も多くの評価を集め最優秀作品に選ばれたのは、石巻支部の須藤しづ子さんでした。須藤さんはこのコンクールの常連であり、最多受賞記録を更新中です。また、優秀賞には仙南支部の小林郁恵さん、大崎支部の佐々木礼子さんに決定しました。優良賞、努力賞などの表彰が続き、受賞者は抱えきれないほどの賞品を手にしていました。

同コンクールは、畜産のイメージアップ、町内の環境美化運動だけでなく、牛乳乳製品の消費拡大を推進するため、酪農家の環境保全意識の向上を図り経営の安定的発展を目的として、毎年開催されています。（I.M）

東京支所発

千葉県みるく農業協同組合が設立される!!

標記「千葉県みるく農業協同組合」（愛称：ちばミルク）が、平成26年4月1日に設立されました（登記完了）。「千葉県みるく農業協同組合」は、「南房総みるく農業協同組合」「両総酪農農業協同組合」「東葛千葉酪農農業協同組合」（以上本会会員）、「うちぼうミルク酪農農業協同組合」「房南酪農農業協同組合」「千葉県東部酪農農業協同組合」（以上本会非会員）の6つの酪農協が合併して設立された農業協同組合です。代表理事組合長には、齋藤昌雄氏が就任され、住所は、千葉県南房総市上滝田1461番地で、旧「南房総みるく農業協同組合」が本所となっています。支所は千葉県南房総市、木更津市、山武市の3箇所設置されます。役員は17名、職員等従業員は約50名となります。平成26年4月現在の正組合員数は318戸、生乳生産乳量は年間約77,000tで千葉県の酪農協では1番の生産量となり、シェアは約35%になります。

▲ 齋藤昌雄代表理事組合長

ご存知の通り、千葉県は日本の酪農業の発祥の地であり、生乳生産量は年間約223,000t（中央酪農会議総受託乳量　平成25年度実績）です。全国第4位の酪農生産県で、昔から首都圏への牛乳の供給に大きな責任を果たして来ました。今後の同組合、並びに傘下の酪農家さんのますますのご発展をお祈り申し上げます。（S.T）

東京支所発

酪農とちぎ「第13回酪農まつり」を開催！

酪農とちぎ農業協同組合の主催の「第13回酪農まつり」が、4月12日㈯、栃木県高根沢町の同組合の「ふれあい牧場」にて開催されました。写真の通り、同組合の菊池一郎代表理事組合長の挨拶の後、来賓の栃木県の農政部杉本宏之畜産課長のほか沢山の方の祝辞をいただきました。当日は朝から穏やかな天気に恵まれ、桜の咲く中、多くの来場者に恵まれ大盛況でした。

◀ 菊池代表理事組合長による挨拶

共進会の様子 ▶

酪農まつりでは、ホルスタイン共進会が開催され、他に「バター手作り体験」「牛乳パック再利用工作」「牧場体験」など各種イベントが盛りだくさんで、さらに「農機具展示」「模擬店」なども出展され、会場を大いに盛り上げました。全酪連東京支所では、会場に来場された皆さんに牛肉の無料配布を実施しました。（S.T）

◀ 本会ブース

東京支所発

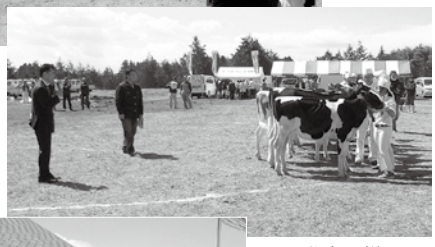
栃木県にて「青木農業祭」「第40回青木ホルスタイン共進会」を開催！

標記、「青木農業祭」並びに「第40回青木ホルスタイン共進会」が、4月6日㈰栃木県那須塩原市にある青木サッカー場にて開催されました。青木地区は酪農の生産が盛んな栃木県の中でも、特に酪農家が集中している地域です。

当日は朝から強風にさらされ、午後は那須連峰から雪が吹き付ける天候で、必ずしも良好な状況ではありませんでしたが、多くの来場者に恵まれ盛況となりました。

開会式では、スイスの民族楽器アルプスホルンが吹奏され、会場の雰囲気を大きく盛り上げました。また、会場には酪農関係者の模擬店や農業機械メーカーによる機械展示なども実施され、来場者の方々の興味をそそる祭典となりました。（S.T）

◀ 会場は盛況でした



▲ 共進会の様子

◀ アルプスホルンの演奏

東京支所発

八木沢直人さんと野口弘子さんが全国大会へ！

― 第43回　関東甲信越酪農発表大会 ―

３月24日㈪・25日㈫、第43回関東甲信越酪農青年女性会議酪農発表大会が栃木県那須の「ホテルエピナール那須」にて開催され、酪農家及び関係者、約300人の参加を得て盛大に開催されました。

大会は主催者の関東甲信越酪農青年女性会議野村栄一委員長の開会挨拶に続き、来賓の農林水産省関東農政局生産部畜産課課長 犬塚明伸氏、栃木県農政部畜産課長 杉本宏之氏、地元の栃木県酪農協会 石川正美会長にご挨拶を頂き発表に入りました。

経営の部では、栃木県酪農青年女性会議より八木沢直人氏の「飼料情勢に影響されない経営を目指して‼～TMRセンターと国産飼料を意識した飼養管理～」、長野県酪農青年女性会議より大槻隆二氏の「生産基盤の安定とおいしい牛乳生産を目指して」の2名が発表されました。

その後の意見・体験の部では、埼玉県酪農業協同組合より秋山順子氏の「まだまだこれから」、栃木県酪農青年女性会議より野口弘子氏の「夫と共に…仲間と共に…夢に向かって…走っています」、群馬県酪農青年女性会議連絡協議会より荒木秀康氏の「サラリーマンからデイリーマンへ～カウコンフォートいつやるの？すぐでしょう！～」、茨城県酪農青年女性会議より佐藤翠氏の「出会いと共進会～いつかは全共の名誉賞～」の４名が発表されました。

発表者の方々は、これまでの経営成果と経営の特徴、独自の取組み・体験などについて、緊張感を漂わせながらも毎日を楽しみつつ酪農に対する熱い思いを込めて発表されました。

審査委員長の関東農政局犬塚課長は審査講評で「それぞれに立地条件、経営規模も異なる経営であり、本来であれば比較することや優劣をつけること自体がためらわれる審査でありましたが、それぞれ将来の目標あるいは夢を持ちながら、作業の効率化・低コスト化に積極的に取り組み、経営安定と収益性の確保のために日々努力されております。一方、お２人共に自給粗飼料の生産に積極的に取り組まれ、酪農経営に大きく貢献していることは共通した特徴であり、まさに審査員泣かせというところではあります」と述べられました。そのような中で、国産飼料の生産・利用について、デントコーンの不耕起栽培という新技術に挑戦し、TMRセンターを活用することで給餌作業に関わる時間と労力を削減、さらには飼料米や稲WCSを積極的に利用することで、飼料生産コストを軽減させ、地域の農業全体に貢献している栃木県の八木沢直人氏が最優秀者に選出されました。

◀最優秀者との記念写真

次に、意見・体験発表の部では、審査員を務めた関甲信酪青女委員を代表して野村委員長より、「どの方も個性的ですばらしい発表内容でした。審査についても非常に議論し時間を要してしまいました」との講評後、ヘルパー制度を立ち上げ、はとむぎジェラートなど食育を推進し、地産地消など地域の酪農家と住民との交流などに積極的に取り組まれている栃木県の野口弘子氏が全国大会に推薦されました。

八木沢氏、野口氏は、７月に仙台市で行われる第43回全国酪農青年女性酪農発表大会に関東甲信越酪農青年女性会議代表として参加することになり、大会参加者から大きな祝福と声援を受けました。（S.T）

▲ 栃木県　八木沢直人さん(経営の部)

▲ 栃木県　野口弘子さん(意見・体験の部)

大阪支所発

新生「みわTMRセンター」竣工！

広島県酪農業協同組合（岩竹重城代表理事組合長）は、平成6年に県内18酪農専門農協が合併して今年で満20年を迎えるに当たり、被合併組合が操業していた庄原飼料混合所（当時、後に庄原TMRセンターと改称）とミックスフィードセンター（当時、後にみわTMRセンターと改称）を統合し、3月28日㈮に新生「みわTMRセンター」の竣工式を執り行いました。

▲ 岩竹組合長

新生「みわTMRセンター」は、国の補助事業により最新式の圧縮梱包機等を導入し、年間最大製造量は1万2千tで、高品質な発酵タイプのTMR飼料を酪農家に供給できる体制が整いました。また、国産粗飼料増産へ転換する国の政策もあり、農協や地域の生産法人等と連携を図り、飼料用イネの生産体制の整備と利用に向け将来展望を描いています。

▲ テープカット

◀ 新たに導入したミキサー2基と圧縮梱包機

岩竹組合長は挨拶の中で、生乳出荷戸数の減少に歯止めをかけるためにも、1円でも安く良質なTMR飼料の供給を掲げて、職員による供給指導の充実を図り、多くの組合員が利用するよう改めて呼びかけました。（S.T）

大阪支所発

「第29回中国地区ブラック＆ホワイトショウ」が開催！

4月6日㈰に島根県松江市の全農島根県本部中央家畜市場において、「第29回中国地区ブラック＆ホワイトショウ」が開催されました。本共進会は、中国5県に加え、兵庫県と京都府のホルスタイン改良同志会等が参加し、160頭余が出品されました。

時折、みぞれ交じりの春の嵐のなか、後代検定の部から第10部まで各県の優良な乳牛が入場すると、審査員に迎えた半澤善幸氏が鋭い視線を注ぎ、次々に優劣を判定し順位を決定しました。その結果は、上位受賞牛のリードマンに説明されると共に、来場者に判定結果が伝えられました。

▲ 若手が活躍

㈱長恒牧場グランドC ▶

同地区では、次代を担う高校生の活躍も目覚ましく広島県・岡山県各2校と鳥取・島根・兵庫・京都府各1校が参加し、複数の部でチャンピオン・リザーブCを受賞しました。中でも、優秀高校として兵庫県立播磨農業高校が表彰されました。若い世代の力で活気あふれる酪農環境を創造して頂きたいと切に願うものです。

当日の経産の部グランドチャンピオンには、岡山県㈱長恒牧場所有のロンゲスト オーケーデニソン ミキテイが、またリザーブグランドチャンピオンには、岡山県松田氏所有のオーエーシー MF バクスター ETが選出されました。（S.T）

日本酪農

見て歩紀

左から奥さんののりえさん、経営主の純さん ▲

No.252
佐々木純牧場
宮城県栗原市

仕事は楽しみを見つけながら アカ牛とともに

地域の紹介

今回紹介します佐々木純牧場は、宮城県栗原市に位置します。栗原市は宮城県北西部に所在し、平成17年に栗原郡全10町村が合併し、宮城県最大面積の自治体となりました。北は岩手県、北西部は秋田県と境界を接し、奥羽山脈に属する標高1，627・4mの栗駒山を臨みます。また、千年以上の歴史を誇る細倉鉱山など、地下資源が豊富で盛んに開発が進められてきましたが、現在は全ての事業が終了しており、鉱業施設の跡を偲ぶ細倉マインパークがその名残を残します。

佐々木さんが所属するみやぎの酪農農業協同組合（濱田茂代表理事組合長）は、正組合員346戸、生乳生産70，519t（平成24年度）と、宮城県内の半分以上の生産量を誇る組合です。

牧場の沿革

佐々木牧場は、戦後開拓地に入植しました。隣接する花山村役場に勤務していた父親が、現在所在する上原地区を戦後の開拓地として斡旋する業務を担当していましたが、自身も農業をやってみようと昭和24年に入植しました。小学校2年の教科書を一通り揃えていた純さんは急遽転校することとなり、佐々木家の開拓地生活が始まりました。当初は「まずは口に入るものを作るべ」と、豆やナタネ、ジャガイモなど金目になるものから作り始めましたが、昭和28年の冷害の経験から、「作物より牛飼いだ」と、昭和30年に乳牛1頭を導入したのが酪農の始まりでした。初めは納屋に繋いでいましたが、徐々に頭数を増やすに従い牛舎建築を思い立ちます。蒸気機関車の石炭入替場だった川渡駅が6～7

km離れたところにあり、石炭の燃えカスを集めてはセメントと混ぜ、鍛冶屋に頼んで作ってもらった型枠に流し込み、自家製ブロックをこしらえ、やがて8頭牛舎を完成させました。自家製ブロックは石炭ガラが混ざっているので釘が打てる程度に柔らかいわりには、今でも物置として立派に活躍しています。昭和30年代前半には、北海道を参考にした赤い屋根のキング式牛舎（12頭）を増築しました。

昭和33年に野幌機農高等学校（現、学校法人酪農学園とわの森三愛高等学校）に入学し酪農を学びました。卒業後はすぐに就農。昭和56年には40頭牛舎を新築し、育成子牛も含め約70頭規模になりました。

◀牛舎

手作りブロックによる牛舎（中央）

今は、労働力を考慮して頭数を徐々に減らし、奥さんと2人で搾乳牛30頭を管理しています。育成牛は、組合の哺育センターや全酪連の預託事業を活用し、全く手がかからない状況です。

草は牛

飼料畑は12町。トウモロコシも3～4町栽培していましたが、

「熊にやられるようになっちゃって数年前にやめました。コーンサイレージは通年給与していましたが、牧草主体になりました。けれど作業はとても楽になりました。牧草は40頭規模の時には通年給与に少し足りなかったけど、この頭数になったら余るようになって、売ったり持っていかせたりね」

採草地（栗駒山を望む）

「草を食わせるには美味しい草を作らなきゃ。種蒔きも収穫もタイミングを見極めて。隣が始めたからうちも蒔くかではなく、土の状況、天気の状況を考えて、畑の管理もきちんとしなければ。春には雑草退治よ。1本ずつ根っこから抜いて、除草剤なんか使わなくても大丈夫。手間かけて、やることやらないといい草作れませんよ。草イコール牛だから。堆肥は十分あるし、石灰だけは買って散布するけど」

「自給飼料が確保できれば、乳価は決まっているから計算できる。年間ならして波が無いように、毎月必要な額を取れるように。計算より残ったら、いざという時に取っておく。計画と記帳は必要だ。酪農は悪い仕事じゃないよ、ちょっと頭と体を使えば。最近エサ代が上がっちゃったけど」

酪農は楽しみながら

最近の飼料高騰にはやや苦言を呈すも、

「酪農は大変だ、と思ってしていてはダメ。何か楽しみを見つけなきゃ続かないよ、分娩も楽しみ。次は雌かなって。昭和58年に偶然アカ牛が生まれて、それからアカを意識的に増やすようにしたんだ。今では8割がアカ牛。ここまで増やすのに30年かかったな。メスを続けて生んでくれた親牛もいてね。この辺ではアカ牛でちょっと有名です。同じ仕事するにも楽しくなきゃ」

レッドが8割の牛群

「牛に使われちゃダメだね、牛を使えって。牛は生活手段だからね。牛を飼うために生活しているんじゃないからね。生活のために牛を飼っているんだから、上手に使っていかないと。その代わり、遊んでばかりと笑われないように、畑仕事もキッチリ段取りしてね」

もう一つの趣味は奥さんとの旅行のようです。

「お金払ってヘルパーさんに来てもらっているのだから、1週間ぐらい女房と一緒に温泉めぐり。来月は伊勢から能登半島を10日間ぐらいかけて周ってこようかなと。歩けるうちに行っとかないとね。年金暮らしになったら贅沢できないかもしれないけど、牛飼っていくらか収入あるし、時間をうまいこと調整すればね。休むためにヘルパー頼んでるんですから、全部任せてます。困ったら獣医さんに連絡しろって、お産も気にしてません。牛1頭ぐらい倒れてもってぐらいの気持ちで構えていれば、10日ぐらい大丈夫ですよ。ヘルパーさんを信用してますよ。ヘルパー制度ができた最初の利用日から、1泊旅行に出かけましたよ。」

ユニットキャリー

お金をかけるといえば労働力軽減も、と佐々木さん。

「毎日使う機械は投資しても惜しくない。自動給餌機や搾乳ユニットキャリーは20年ぐらい前に導入しました。年に何日かしか使わない機械に大金かけるのはもったいないね、その分長持ちさせて使ってます。365日で割るのと10日で割るのと、どちらが優先か。体は楽だし、ヘルパーも楽でいいって。毎日使う機械への投資は無駄じゃない。この年になって続けられるのも機械のおかげ」

しかし、最近の酪農家の減少にはさみしさを感じ、

「初めは40戸を超えるほど酪農家がいたが、今は15戸ぐらいかね。酪農は隣近所に仲間がいて成り立つ職業だから、何かあった時に頼りになるのがご近所、仲間だからね。畑作業も、牛に何かあったときなんかもそうだよね。収穫の時もルール作って行ったり来たりしていたけど。ここ2年（震災の影響で）収穫できなくなったのもあって、共同作業も中断しちゃってるね」と。

経営移譲募集中

佐々木さん自身、3人のお子さんに恵まれましたが、娘2人は嫁に出し、息子は東京勤めで家族持ちです。

「5～6年前になるかな、将来のことをどうするか息子家族と話をしたんですよ。横浜ランドマークタワーの1番高い所のレストランでメシ食いながら。この先どうするかはっきりさせようとね。その方が、お互い気にせずにそれぞれの仕事に没頭できるじゃないですか、スッキリするし。期待しているとかされているとか考えちゃうと気まずくなったりするし」と、佐々木さんから将来について切り出したそうです。

「結局、息子は自分の好きな道に入ったもんだから、自分の選んだ道を行くと。親には子供をどうのこうのする権利もないし、小さい頃から好きなことやってもいいが責任は自分でとれよって言ってきましたしね。これでスッキリしましたよ」

息子さんは継がないとなりましたが、ここまでそろえたアカ牛をバラバラにしたくないと佐々木さんは言います。

牛舎全景

「夫婦でやりたいって人が出てきたら譲りたいね。真剣でやる気のある人であれば。機械や牛舎はそろっていて牧草地も隣接しているし。いろいろ声かけてるんですよ」と。しかし「引退まで指を折って数えているけど、組合にはもう少し頑張れと言われてね、まあそのつもりではいるけど」と嬉しそうに語っておられました。

隔年で開かれる北海道での同級会にも奥さんと一緒に行くという佐々木さん。東北各県や、遠いところでは広島からも参加者がおり、今でも卒業生の1／3ほどが顔を合わすといいます。野幌機農高等学校OBは連絡を取ってみては。来年は網走で予定しているとのことです。

酪政連活動報告

平成26年2月～26年4月

日本酪農政治連盟

2/21 内部監査(会計責任者、幹事長ほか)
◆平成25年度収支決算等について

2/27 TPP閣僚会合〈シンガポール〉報告会(委員長、幹事長ほか)
◆日本の畜産ネットワーク主催

2/28 酪政連東北ブロック協議会総会(幹事長)

3/5 平成26年度通常総会
◆25年度決算、26年度予算、26年度会費賦課、役員改選の件

3/6～3/7 酪農未来塾(委員長ほか)
◆全国酪農協会主催の酪農後継者対策の一環

3/14 関東地区酪政連協議会研修会
◆「水戸黄門に学ぶ～人生の教訓」
◆講師　但野正弘氏(植草学園短期大学名誉教授、水戸史学会理事)

会場の様子

3/18 三役会議
◆新体制での挨拶回りについて
◆今後の酪政連活動について

3/18～3/19 挨拶回り
◆横山信一政務官ほか計8名の国会議員に面談挨拶

横山信一政務官へ面談挨拶

3/26 消費税価格転嫁円滑化特別措置法説明会
◆消費税増税を円滑に進めるための時限立法について
◆公正取引委員会、消費者庁、国税局担当官より報告

3/27 TPP交渉における国益を守り抜く会
◆日豪EPAに関する報告、意見交換

3/31 平成25年度収支報告書提出
◆東京都選挙管理委員会へ提出

4/2 中央団体打合せ(幹事長)
◆配合飼料価格安定制度に関する件
◆全国酪農協会、全酪連、日本ホルスタイン登録協会、畜産基金で協議

4/7 酪農対策検討会
◆常任委員、一部中央委員、常任顧問出席
◆日本酪農の将来の姿、その他について協議

4/8 自民党畜酪小委員会・配合飼料価格安定制度WT(委員長、幹事長)
◆標記制度に関する要請、意見交換

4/9 自民党外交・経済連携本部ほか合同会議
◆日豪EPAに関して外務省、農水省から報告、意見交換

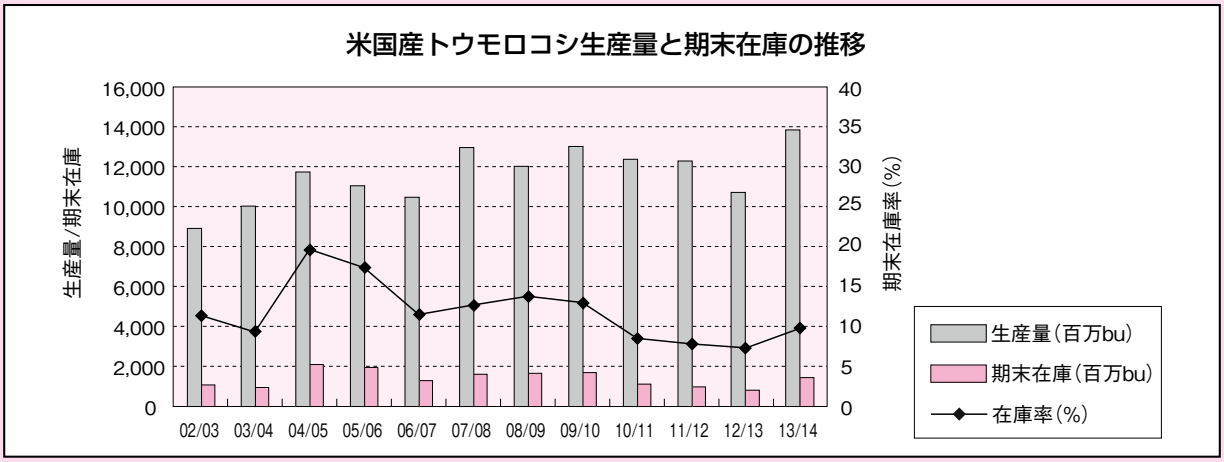
4/9 自民党農林水産貿易対策委員会(委員長、副委員長、幹事長ほか)
◆日豪EPAに関して農水省より報告、意見交換

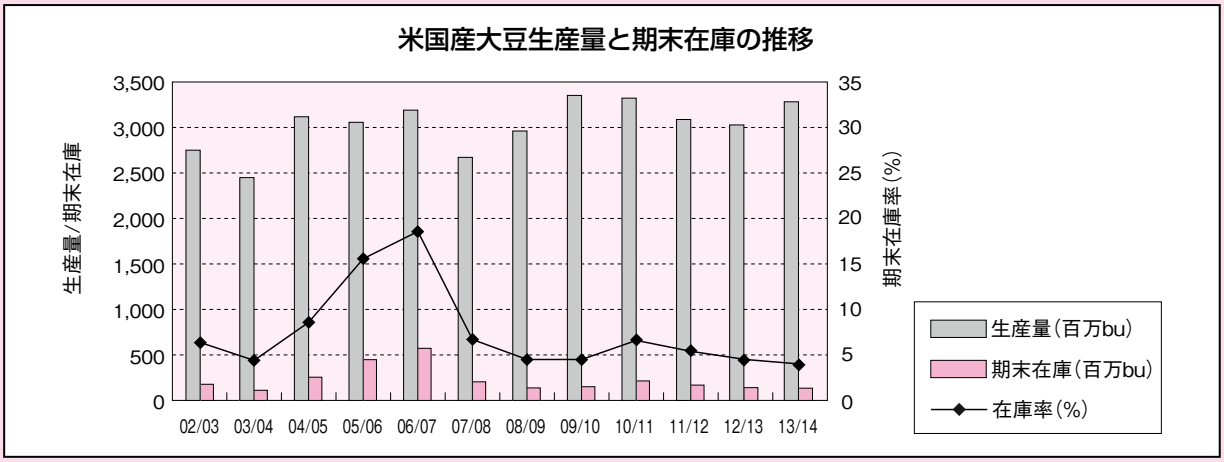
4/11 TPP交渉における国益を守り抜く会(幹事長)
◆日米2国間協議に関して政府より報告、意見交換

4/16 拡大常任委員会
◆自民党拡大役員会に参加し、TPP交渉対策等に関する要請

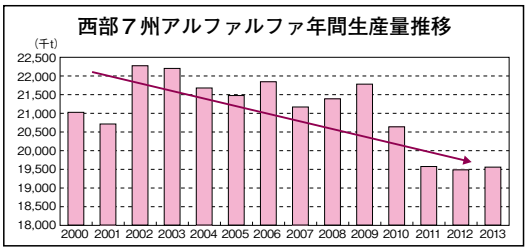
原料情勢 平成26年4月

4月9日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	【12/13年産】 作付面積97.2百万（前月97.2百万）エーカー、単収123.4（123.4）bu/エーカー、生産量107億8,000万（107億8,000万）bu、総需要量111億1,100万（111億1,100万）bu、期末在庫8億2,100万（8億2,100万）bu、在庫率7.4（7.4）%。
	【13/14年産】 作付面積95.4百万（前月95.4百万）エーカー、単収158.8（158.8）bu/エーカー、生産量139億2,500万（139億2,500万）bu、総需要量134億5,000万（133億2,500万）bu、期末在庫13億3,100万（14億5,600万）bu、在庫率9.9(10.9)%。
トウモロコシ 相場動向	シカゴ相場は、480～490¢台の値動きだったが、四半期在庫発表で在庫が減少したことや、米国の作付遅延懸念から4月以降500¢前後で推移。その後は、中国がブラジル産の輸入を開始する可能性や、ブラジルの生産量が上方修正されたことから強弱の材料が入り混じり、相場は小幅な動きとなっている。今後は、米国の天候にも注意する必要がある。
国内産大豆粕	米国産大豆需給予想の13/14年見通しは、需要面が輸出を中心に増加し、期末在庫見通しは1億3,500万（1億4,500万）bu、在庫率4.0（4.4）%となった。シカゴ大豆相場は堅調に推移し、トウモロコシ安大豆高の影響から作付面積の増加が見込まれている。生産量増加による価格の緩和期待もあるが、需要が堅調であり相場動向は読みづらい状況。国産大豆粕発生量は安定している。国内流通は6年後の東京五輪による需要増により、受け渡しが一部逼迫している。輸入大豆粕は順調。今後は中国産が中心になる見込みだが、中国国内の需要により供給量が大きく変化する可能性がある。
糟糠類	国産フスマ発生量は、4月以降増加する見込み。今期(4-6月)価格は値上げだが、需要は変わらず横ばいで推移。輸入品はメーカーで一部使用が見られるが、数量が限定的で需給に大きな影響はないと思われる。 グルテンフィードの国内発生量は3月より増加しており、8月まで続く見通しのため需給は若干緩む見込み。輸入品は発生量・需要量も減少見込みで、先行きは不透明な状況。
海上運賃	南米穀物の輸出に備え、船が大西洋に過剰集中しており、フレート相場価格全体が押し下げられている状況。今後は、船の過剰も徐々に緩和してくると思われ、再び緩やかに上昇基調になる見込み。





輸入粗飼料の情勢　平成26年4月

北米コンテナ船フレート	4-6月のBAF（燃料調整係数）は$5の値上げ実施。GRI（基礎レート）値上げ予定は、大半の会社が5月以降にさらに延期している模様。どの船会社もコンテナ部門の採算悪化が続いており、今後も海上運賃は強含みの予想。北米西海岸での労使交渉が難航していることから、最悪の場合各港でのストライキによる配送遅延も懸念されるため、注意が必要。
ビートパルプ	【米国産】砂糖の相場価格が低調に推移しており、かつ作付の遅れによる単収減が予想されることから、13年産の作付面積・生産量は前年比5%減の見込み。生産量が減少している欧州からの引合いも強く、産地価格は堅調に推移している。
	【中国産】13年産の作付面積は12年産より減少している。国内向けの需要がさらに増えることが予想されており、韓国と日本向けの輸出数量は限定的になる見込み。
アルファルファ	**西海岸全体でアルファルファの生産量が減少しており（右グラフ参照）、米国乳価や牛肉価格が高値で推移していることと、干ばつの影響により米国内の酪農家や肥育農家が積極的に購入し“パニック買い”を起こしていること、UAEや中国向けが旺盛であることにより、14年産の産地価格は高値スタートが間違いないと言われている。** 
	【ワシントン産・オレゴン産】主産地の14年産作付面積は前年とほぼ変わらないことが予想される。農業用水の不足の心配はないと言われているが、カリフォルニア州内の酪農家からの引合いは日々強くなってきており、しばらくは続く見込み。
	【北カリフォルニア産・ネバダ産】干ばつの影響を最も受けている地域で、14年産では農業用水の不足により2番刈で終了する圃場も出てくるのでは、と言われている。全米一の生乳生産地帯である北カリフォルニア向けは州内では賄いきれない見込み。
	【インペリアルバレー産】14年産作付面積は前年比104%。産地では1番刈の収穫が間もなく終了。水分が高く輸出には適さないが、カリフォルニア州内から強い需要が来ている。産地価格が高騰する中で、いつ頃他国から本格的な買い付けが始まるか注目される。
チモシー	【米国産】14年産作付面積は前年比5～10%増の予想。近年では日本以外の他国向けにも需要が広がっており、作柄が良くても期待以上に価格は下がらないのでは、と予想されている。13年産は費用対効果のある価格帯ではなくなっており、引き続き、他草種への移行も検討する必要があると思われる。
	【カナダ産】主産地では14年産作付面積が増えることが予想されているが、1年目は雑草混入も多く輸出には適さないため、生産量が目に見えて増えるのは15年産以降になる見込み。昨秋よりカナダドルが米国ドルより弱く推移しており、米国産に比べて価格軟化が期待される一方で、需要の広がりから期待以上には下がらないとも予想されている。引き続き、他草種への移行も検討する必要があると思われる。
スーダン	【インペリアルバレー産】小麦の作付面積が減少していることから、早播きスーダンの作付面積が増えることが予想され、4/1時点では作付面積前年対比133%となっている。ただし、小麦収穫後の遅播きの作付面積は減少することが確実と言われている。農業用水の使用制限の実施強化懸念などもあるが、早播きスーダンは2番刈も収穫すると予想されており、全体の生産量自体は、昨年よりも増加する見込み。
	【北カリフォルニア産】干ばつの影響を受け、農業用水がどこまで使用できるか不透明な圃場では作付が出来ず、14年産は大きく減少する見込みだが、主産地のインペリアルバレーでは増加予想であるため、需給に大きな影響はないと考えられている。
クレイングラス	インペリアルバレーの3/15時点での作付面積は前年対比105%。輸出向け需要を賄えるだけの生産量は確保されている模様。アルファルファ代替として米国内酪農家向けに関心が持たれ始めており、1番刈の雑草混入品への引合いが増え始めているとも言われている。
バミューダ	インペリアルバレーの3/15時点での作付面積は、前年対比93%。高値で推移しているため、日本、台湾向けの荷動きが悪くなっている一方、干ばつの影響により米国内の肥育農家・酪農家からの引合いは強くなっている。種子の生産意欲が旺盛なことから、14年産の作付面積は増えても、バミューダヘイの生産量は減少する見込み。
ストロー類	14年産の米国産ストロー類の作付面積は昨年よりも増加する見込み。近年続いた種子価格の低迷による作付面積の減少は、ようやく歯止めがかかってきたとも言われている。一方で、13年産は韓国向け需要が減退したこともあり、14年産の価格次第では種子収穫後にストローを集荷しない農家が増えることも予想される。
オーツヘイ	13年産は、雨当たり被害はあるものの大半が軽い雨で済んでいるため、ハイグレード品は限定的で、見た目がきれいなローグレード品が多く発生している。どの産地も生育中にも降雨が十分にあったため、単収は例年より多いものの、雨に当たっていないスタックでも分析値はあまり良くない傾向。ハイグレード品の価格は強含みで推移しているものの、中間・ローグレードの価格は弱含みで推移しており、日本・韓国向け共に荷動きが順調。豪州ドルの動向次第だが、チモシー・スーダンからの切り替えも有益であると思われる。

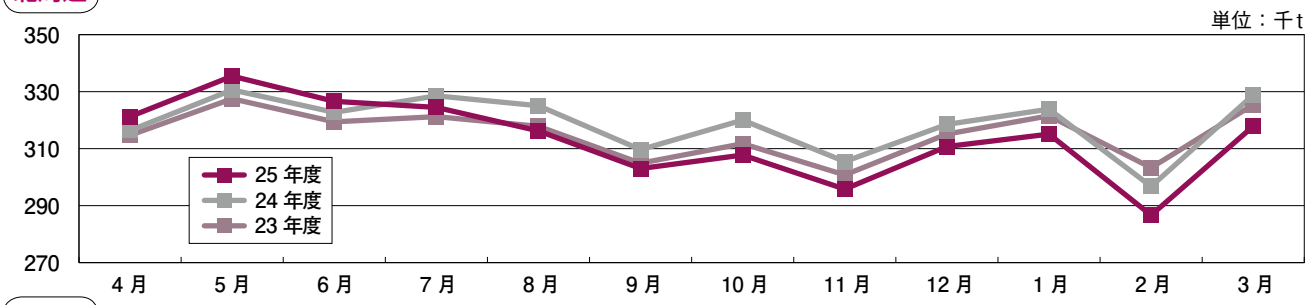
生乳受託販売乳量

受託販売乳量

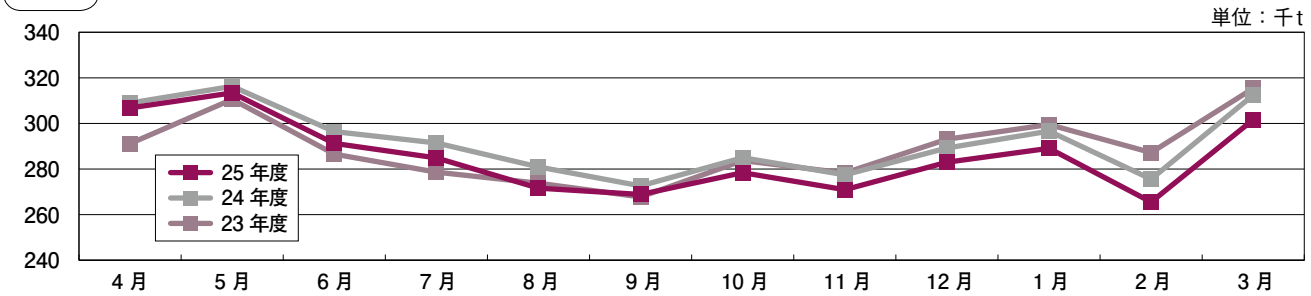
全国　619,533t で、前年同月比21,727t(3.4%) 減少　　都府県 301,667t で、前年同月比10,797t(3.5%) 減少

北海道 317,867t で、前年同月比10,931t(3.3%) 減少

北海道



都府県

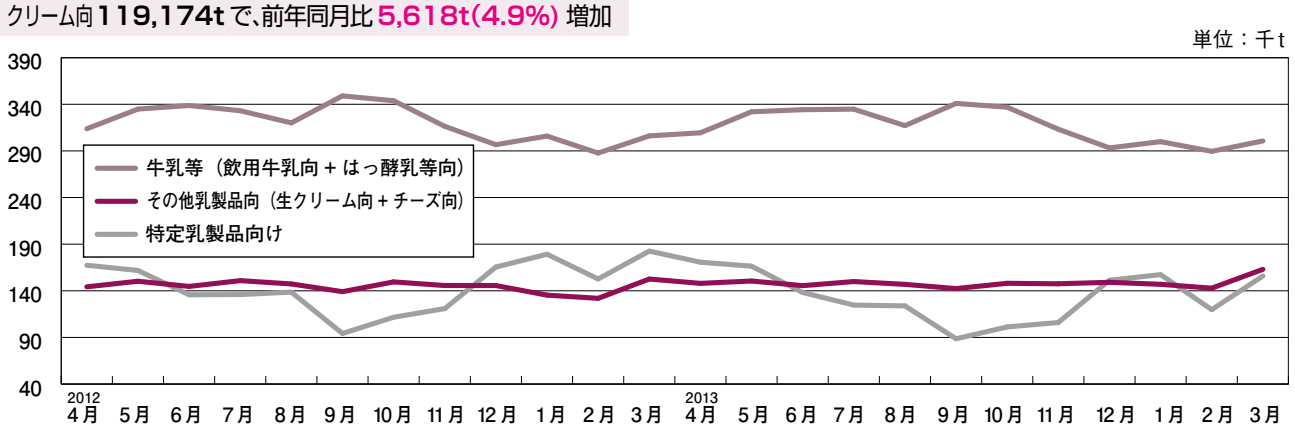


用途別販売数量

飲用向　259,344t で、前年同月比　4,167t(1.6%) 減少　　チーズ向　43,844t で、前年同月比 4,791t(12.3%) 増加

はっ酵乳向　41,326t で、前年同月比　1,261t(3.0%) 減少　　特定乳製品向 155,844t で、前年同月比 26,708t(14.6%) 減少

クリーム向 119,174t で、前年同月比 5,618t(4.9%) 増加



各地の需給動向

＊前年比については、閏年修正を行っておりませんのでご注意ください。

【仙台】3 月の生産は前年比 95.6%と大きく減少。一方で需要は引き続き堅調で、飲用牛乳向けは前年比 101.7%とH 25 年 11 月以降、5 か月連続で前年を上回った。その結果、特定乳製品向けは 81.8%と大きく前年を下回った。

【関東】生産は前年比 96.4%。下旬に向けての伸びが鈍かった。一方で需要は、上旬は堅調であったが、中旬に緩和。月末は、消費税増税前の駆け込み需要があった。その結果、飲用牛乳向けは 98.6%、特定乳製品向けは 87.8%となった。

【東海】生産は前月比で若干の回復は見られるが、全体では前年比 97.1%。その一方で処理は、飲用牛乳向け 98.0%、特定乳製品向け 90.5%となった。

【近畿･中国･四国】生産量は各地とも寒さの影響で伸び悩みが著しい（近畿 96.5%、中国 95.9%、四国 96.0%）。処理は、一週目までは安定的であったが、2 週目以降潮目が変わり、若干計画を下回っていた。最終週末は、増税前で買い物客が増えたため、牛乳の販売も好調となった。（飲用牛乳向け前年比：近畿 96.9%、中国 95.9%、四国 96.0%）

【九州】生産は月間を通してほぼ見込み通り（前年比 97.8%）。一方処理は、上旬から下旬にかけ徐々に落ちていた様子。（飲用牛乳向け 98.1%、特定乳製品向け 92.8%）

用途別生乳処理量

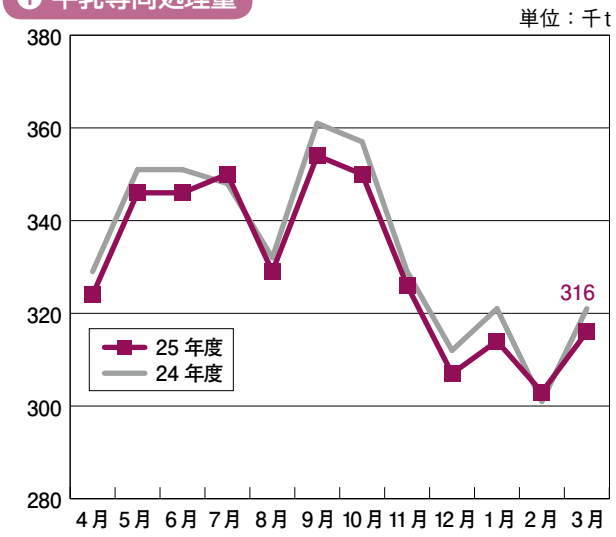
単位：千t

年月	生乳生産量	用途別処理量計	乳製品向		その他乳製品向			
			牛乳等向①		特定乳製品向②		クリーム向③	チーズ向④
2012. 4月	649	645	329	316	169	147	106	42
5月	671	667	351	316	164	152	108	45
6月	642	637	351	286	139	147	106	41
7月	644	639	348	291	139	153	111	42
8月	630	625	332	293	143	149	107	43
9月	604	599	361	238	98	140	106	34
10月	628	623	357	266	115	151	111	40
11月	605	600	329	271	123	147	109	39
12月	632	627	312	315	167	148	108	40
2013. 1月	644	639	321	319	181	138	96	42
2月	595	590	301	289	155	134	96	38
3月	664	660	321	339	185	155	113	41
年度計	7,608	7,550	4,012	3,538	1,777	1,761	1,276	485

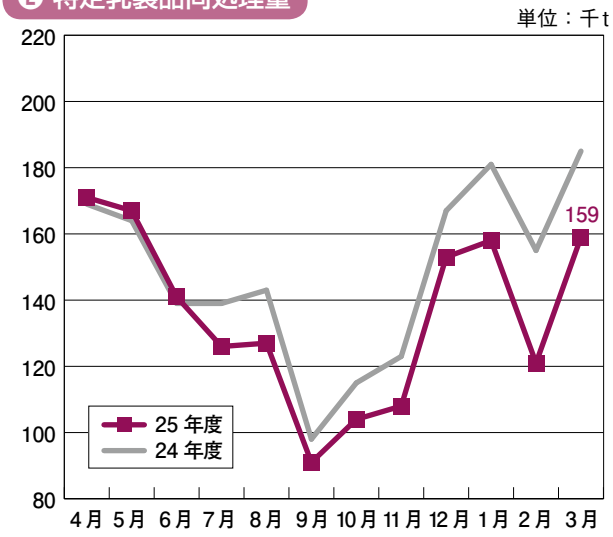
年月	生乳生産量	用途別処理量計	乳製品向		その他乳製品向			
			牛乳等向①		特定乳製品向②		クリーム向③	チーズ向④
2013. 4月	650	645	324	321	171	150	106	44
5月	671	666	346	320	167	153	107	46
6月	638	633	346	287	141	147	105	42
7月	632	627	350	278	126	151	109	42
8月	608	603	329	274	127	147	107	40
9月	593	588	354	235	91	144	107	37
10月	608	604	350	253	104	150	109	40
11月	588	583	326	257	108	149	111	38
12月	616	612	307	305	153	151	114	37
2014. 1月	626	622	314	308	158	150	103	47
2月	573	568	303	265	121	144	102	43
3月	643	638	316	322	159	163	117	47
年度計	7,447	7,390	3,964	3,426	1,626	1,800	1,298	502

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

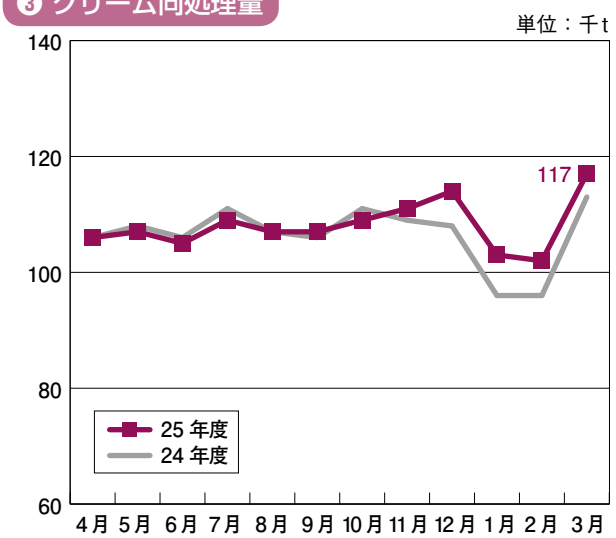
❶ 牛乳等向処理量



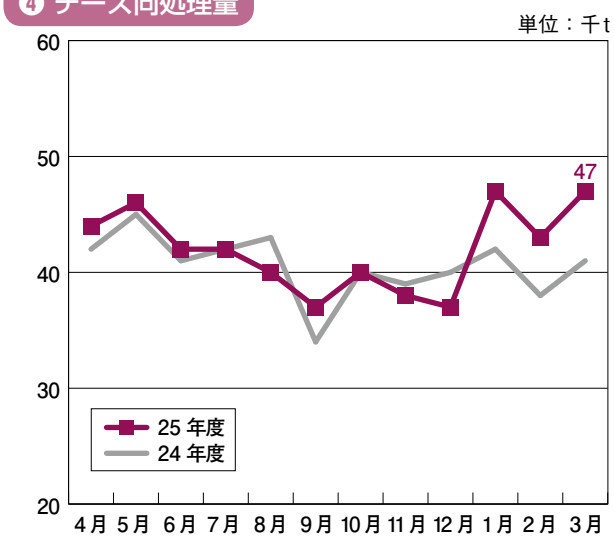
❷ 特定乳製品向処理量



❸ クリーム向処理量



❹ チーズ向処理量



特定乳製品（脱脂粉乳・バター）の国内生産及び出回り量の推移

※生乳需給動向の指標となる特定乳製品の生産及び消費の動向です。

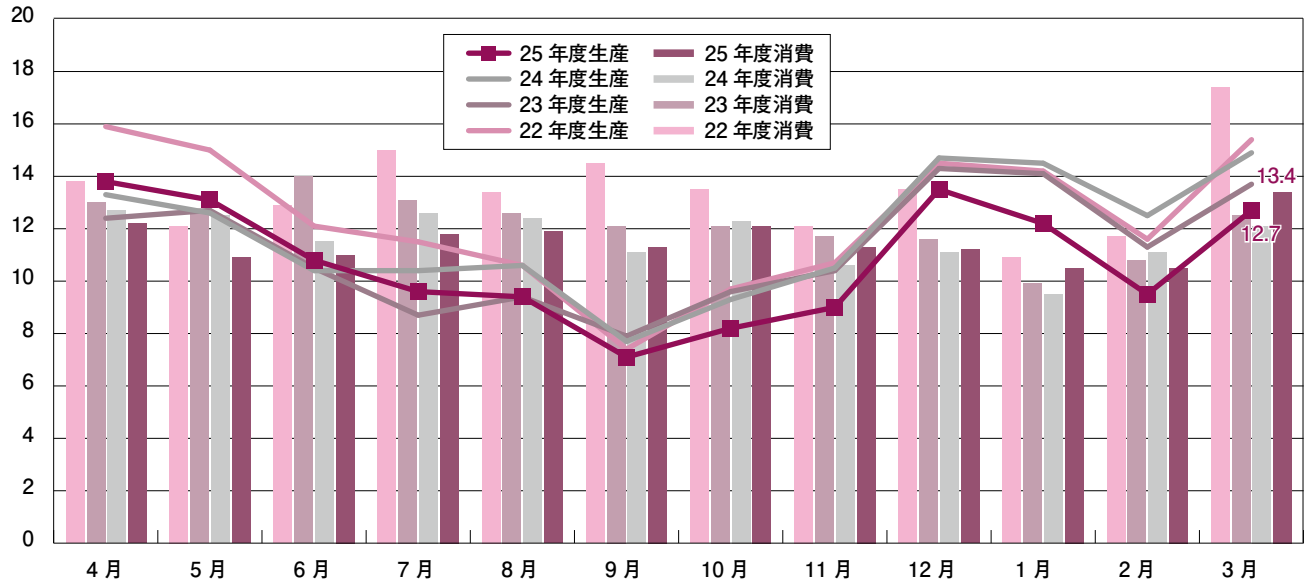
単位：千t

年月	脱脂粉乳生産量	脱脂粉乳消費量	バター生産量	バター消費量	年月	脱脂粉乳生産量	脱脂粉乳消費量	バター生産量	バター消費量
2012. 4月	13.3	12.7	6.7	6.4	2013. 4月	13.8	12.2	7.0	6.1
5月	12.6	12.5	6.5	6.4	5月	13.1	10.9	7.0	5.5
6月	10.4	11.5	5.5	6.8	6月	10.8	11.0	5.7	5.8
7月	10.4	12.6	5.4	6.2	7月	9.6	11.8	5.1	5.8
8月	10.6	12.4	5.6	6.0	8月	9.4	11.9	5.1	5.7
9月	7.7	11.2	3.7	5.8	9月	7.1	11.3	3.6	5.0
10月	9.3	12.5	4.3	5.6	10月	8.2	12.1	3.9	5.5
11月	10.5	10.9	4.8	5.7	11月	9.0	11.3	4.2	6.2
12月	14.7	11.1	6.2	7.8	12月	13.5	11.2	5.5	7.3
2013. 1月	14.5	9.5	7.6	4.8	2014. 1月	12.2	10.5	6.5	4.9
2月	12.5	13.9	6.3	6.5	2月	9.5	10.5	4.8	5.7
3月	14.9	17.7	7.4	8.7	3月	12.7	13.4	6.0	6.9
年 度 計	141.4	148.5	70.1	76.7	年 度 計	128.8	138.0	64.3	70.5

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、農畜産業振興機構、農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課調べ

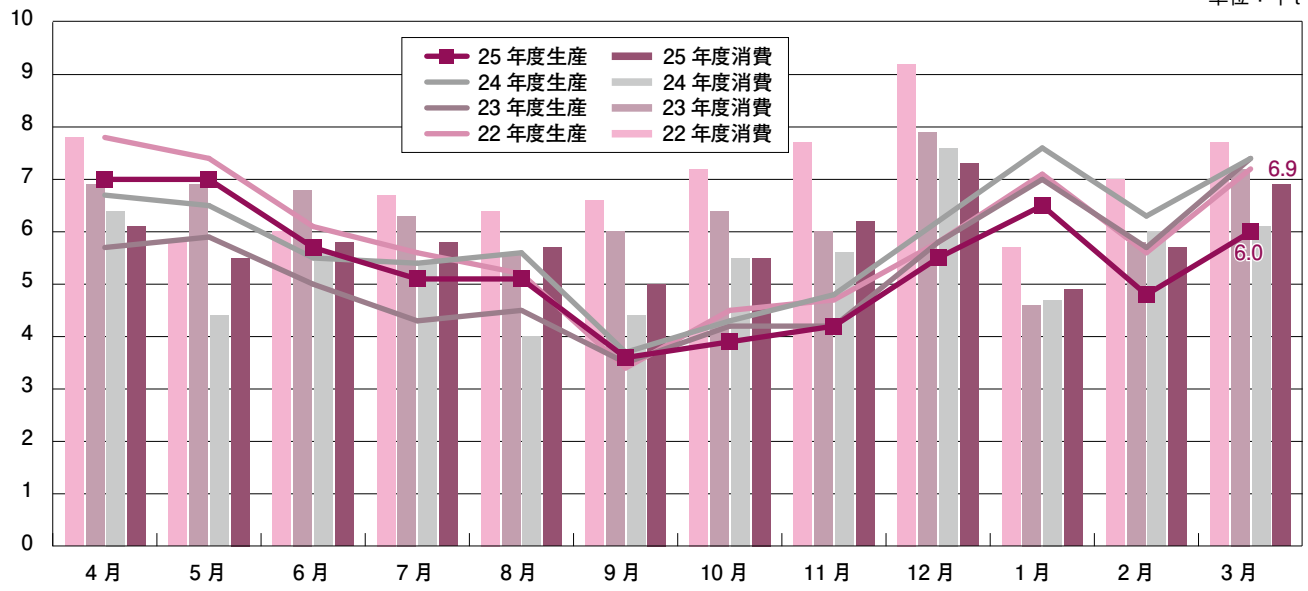
脱脂粉乳の生産及び出回り量推移

単位：千t



バターの生産及び出回り量推移

単位：千t

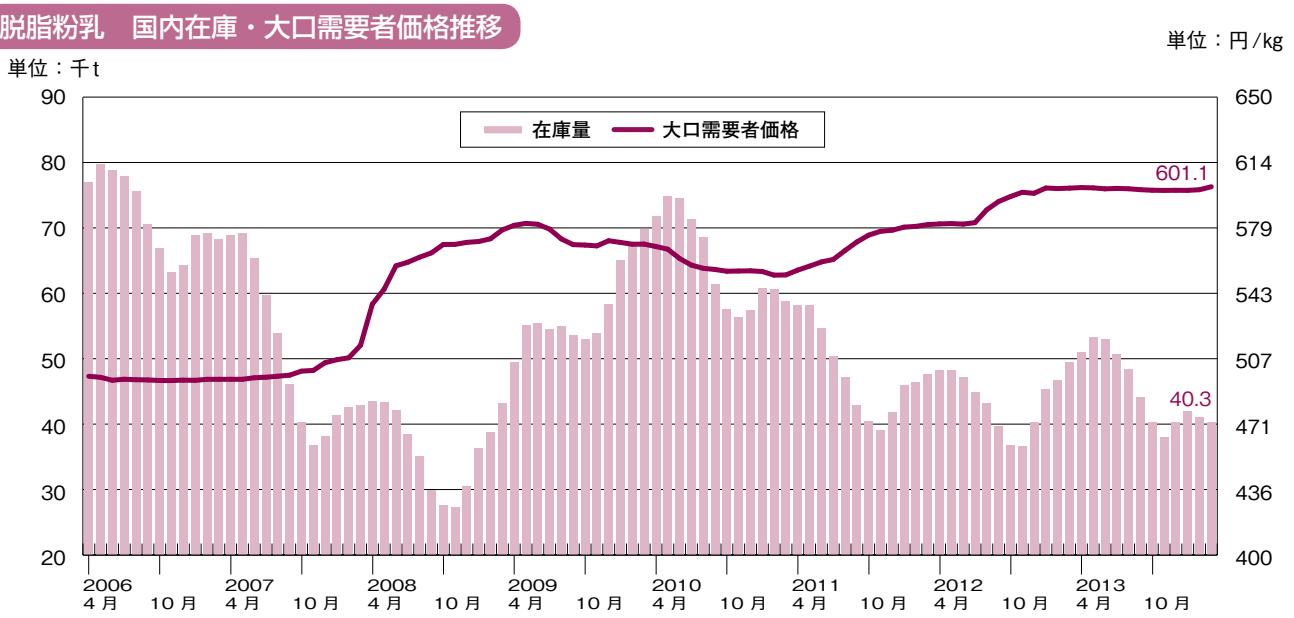


脱脂粉乳・バターの国内在庫及び大口需要者価格の月別推移

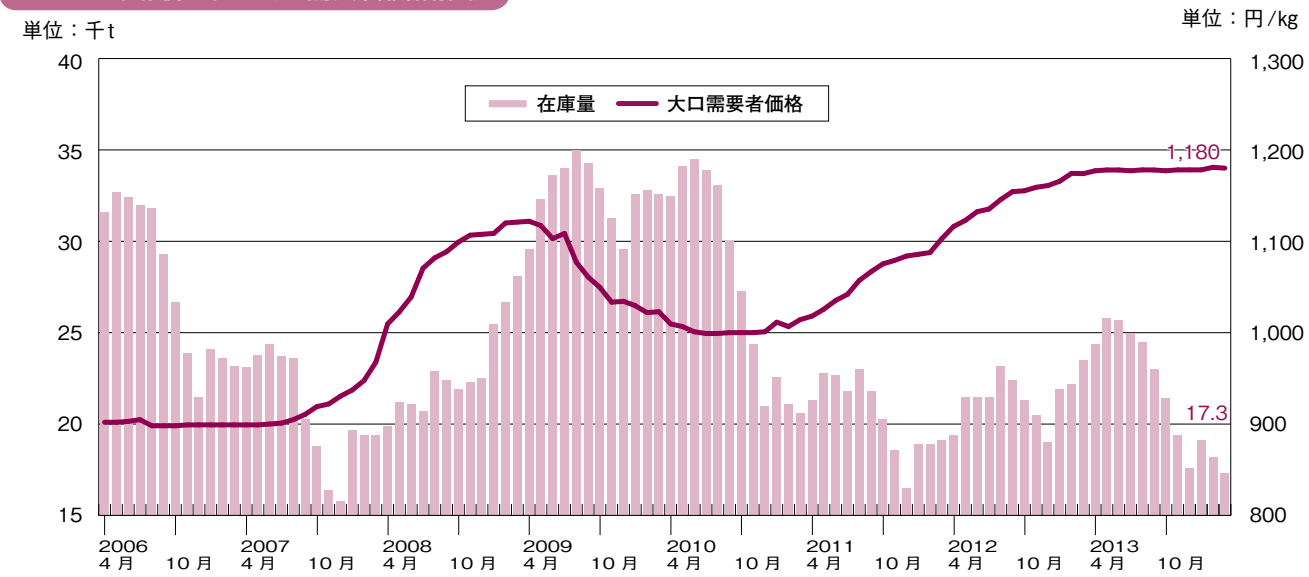
区　分	バター		脱脂粉乳		区　分	バター		脱脂粉乳	
	期末在庫量	大口需要者価格	期末在庫量	大口需要者価格		期末在庫量	大口需要者価格	期末在庫量	大口需要者価格
年度/月	千t	価格 円/kg	千t	価格 円/kg	年度/月	千t	価格 円/kg	千t	価格 円/kg
2012. 4月	19.4	1,116.2	48.2	580.80	2013. 4月	24.4	1,177	51.0	600.65
5月	21.5	1,122.9	48.2	580.99	5月	25.8	1,178	53.2	600.50
6月	21.5	1,132.4	47.1	580.69	6月	25.7	1,178	53.0	599.96
7月	21.5	1,135.2	44.9	581.49	7月	25.0	1,177	50.7	600.19
8月	23.2	1,145.7	43.2	588.53	8月	24.5	1,178	48.3	600.00
9月	22.4	1,154.3	39.7	593.03	9月	23.0	1,178	44.1	599.50
10月	21.3	1,155.2	36.7	595.73	10月	21.4	1,177	40.3	599.20
11月	20.5	1,159.0	36.6	598.06	11月	19.4	1,178	38.0	599.09
12月	19.0	1,161.0	40.3	597.52	12月	17.6	1,178	40.3	599.16
2013. 1月	21.9	1,165.7	45.3	600.42	2014. 1月	19.1	1,178	42.0	599.12
2月	22.2	1,174.3	46.7	600.11	2月	18.2	1,181	41.0	599.47
3月	23.5	1,174.3	49.5	600.34	3月	17.3	1,180	40.3	601.10
年 度 計	257.9	13,796.2	526.2	7,097.71	年 度 計	261.4	14,138	542.2	7,197.94

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、大口需要者価格

脱脂粉乳　国内在庫・大口需要者価格推移



バター　国内在庫・大口需要者価格推移



人事異動

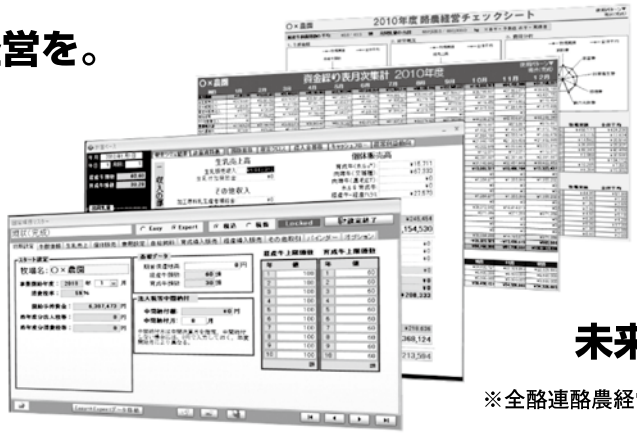
新	旧	氏名
■平成26年5月1日付異動発令		
酪農部　副部長 兼 乳製品工場課長	購買部　副部長 兼 購買推進課長	岡本尚之
購買部付出向　全国酪農飼料㈱釧路工場　所場長待遇	札幌支所　道北事務所長	中田秀明
購買部付出向　全国酪農飼料㈱鳥栖工場　所場長待遇	購買部付出向　全国酪農飼料㈱釧路工場　所場長待遇	小林貞雄
購買部付出向　㈱協和産業　所場長待遇	購買部付出向　全国酪農飼料㈱鳥栖工場　所場長待遇	馬場甲二
■平成26年5月1日付兼務発令		
札幌支所　購買推進課長 兼 釧路事務所長 兼 道北事務所長	札幌支所　購買推進課長 兼 釧路事務所長	荒木泰將
■平成26年5月1日付昇格発令		
購買部　購買推進課長	購買部　購買推進課長代理	飯島洋一
酪農部　酪農部長	酪農部　副部長 兼 乳製品工場課長	戸辺誠司
札幌支所　道北事務所長代理	札幌支所　道北事務所　副審査役	大山幸紀

酪農家経営管理支援システム(DMS システム)

Dairy-farm Management Support System

自分の牧場の10年後をイメージできますか？　まずは、現状の把握から始めてみましょう。
DMSシステムでは、青色申告書を元に経営分析を行っています(無料)。
お気軽に声をかけてください。

一歩先ゆく経営を。



未来を予測し対策を。

※全酪連酪農経営シミュレータ 操作画面

DMSシステムでは　①経営診断、②中期経営シミュレーション、③月次決算の支援を行っています。

全国酪農業協同組合連合会　酪農生産指導室 TEL 03(5931)8007

今春新登場!

乾乳期・移行期専用配合飼料

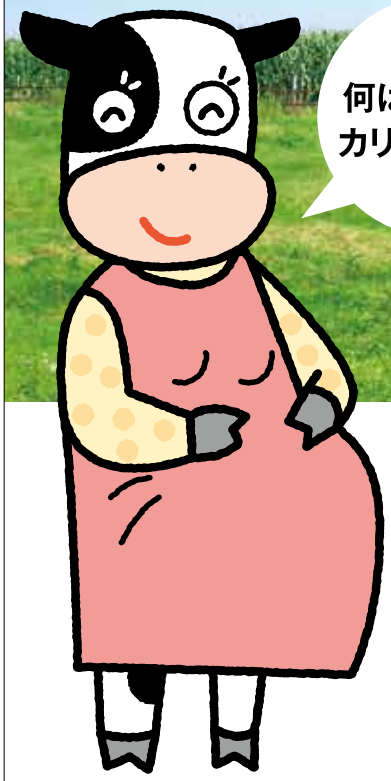
DRY&FRESH SE

ドライ&フレッシュSE

移行期対策にお悩みですか?
おまかせ下さい!

移行期牛管理のゴール

- 高泌乳の達成
- ボディ・コンディションの維持
- 代謝障害を最小に
- 繁殖の向上
- 健康な子牛の誕生



20kg

DRY&FRESH SE ドライ&フレッシュSE

- クロースアップ期に必要なミネラル・ビタミンを強化! マグネシウム、イオウ、セレンも配合しました。
- ビートパルプをふんだんに配合し、カリウム低減と、分娩後の乾物摂取量の向上を実現します。
- 『アリメット』『ソイプラス』を配合し、ルーメン・バイパス・メチオニンとリジンを強化しています。

詳しくは最寄りの全酪連支所までお問い合わせください。

Your Partner 全酪連　購買部　03(5931)8007

ハイ・パフォーマンスに挑戦! Challenge

札幌支所 011(241)0765
釧路事務所 0154(52)1232
帯広事務所 0155(37)6051
道北事務所 01654(2)2368
仙台支所 022(221)5381
北東北事務所 019(688)7143
東京支所 03(5931)8011
北関東事務所 027(310)7676
栃木駐在員事務所 028(689)2871
名古屋支所 052(209)5611
大阪支所 06(6305)4196
中四国事務所 086(231)1120
近畿駐在員事務所 0794(62)5441
三次駐在員事務所 0824(68)2133
福岡支所 092(431)8111
南九州事務所 0986(62)0006

北海道 乳牛産地情報

平成26年5月1日現在

札幌支所　TEL 011-241-0765
釧路事務所　TEL 0154-52-1232
帯広事務所　TEL 0155-37-6051
道北事務所　TEL 01654-2-2368

価格状況　↑……強含み　↗……やや強含み　→……横這い　↘……やや弱含み　↓……弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	30～34	→	4月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計94.0%、苫小牧管内月計で97.8%の実績。5月の初妊牛動向について、夏分娩中心となるものの自家保留のため出回る頭数は少なく、価格も横ばいで推移するものと思われる。札幌管内では、初妊牛販売よりも育成牛や初生牛販売にシフトしてきている農家も出てきていると言われている。
	初妊牛	52～58	→	
	経産牛	43～48	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	33～40	↗	4月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で93.7%、中標津管内月計で93.7%の実績。5月の初妊牛動向は、夏分娩中心で取引されるため、若干の値動きがある見込みだが、メガファームや地元の導入によっては極端な値下がりはないものと思われる。自家保留の傾向が強く、また売る側から買う側への移行もあり、資源は少ない模様。
	初妊牛	54～58	→	
	経産牛	48～50	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	29～34	→	4月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で98.2%の実績。5月の初妊牛動向は、7～8月分娩中心。育成農家は夏腹を避けるように授精を行い、酪農家では自家保留の傾向があるため、資源は少なめの予想。道内のメガファームの購買もあり、価格全体は横這いで推移するものと思われる。夏場の分娩を避けるために7月上中旬分娩牛に購買が集中するため、この時期は高値で取引される見込み。
	初妊牛	54～60	→	
	経産牛	45～52	→	
道北管内	育成牛(10-12月令)	28～36	→	4月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で96.5%、北見管内では月計で97.6%の実績。5月の初妊牛動向は、7～8月分娩中心。前月同様に宗谷・北見管内の生乳生産量の減少や乳価の値上げが決定したことにより、酪農家は自家保留をするものと思われ、初妊牛や経産牛の出回り頭数は少ない見込み。夏分娩に向け都府県需要は減少傾向だが、依然として引合いは強く、各管内の出回り頭数減により価格はやや強含みで推移するものと思われる。
	初妊牛	55～60	↗	
	経産牛	45～50	↗	
道内総括	育成牛(10-12月令)	30～35	→	4月中旬までの生乳生産量前年比は96.0%の実績。道内も生乳生産が非常に厳しい状況であり、各管内は危機感から自家保留対策等を実施。5月の初妊牛は夏分娩となるため、都府県導入は減少見込みだが、出回る資源も減少するため極端な値動きはないものと思われる。しかし、7月上中旬分娩については注文が集中する可能性もあり価格は堅調に推移すると予想される。
	初妊牛	54～60	→	
	経産牛	45～50	→	

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。庭先選畜購買のため、市場購買とは異なり、価格差が生じます。

今月の表紙

ちゃんと食べやすくするから、待っててよ！

今月の表紙は、「第4回酪農いきいきフォトコンテスト」(第42回全国発表大会にて開催)で応募いただいた「ちゃんと食べやすくするから、待っててよ！」(愛知県 片岡 真里氏 撮影)です。乾草をほぐすために頑張っている姿が愛らしい写真です。牛も温かく見守っていると思います。

編集後記

▼新緑や花が色鮮やかな季節になりました。全てのものが輝いて見える季節ですね。

▼会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです。

shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

平成26年5月10日発行(毎月1回10日発行)
ZENRAKUREN
MEMBER'S INFORMATION
全酪連会報　5月号　No.584

●編集・発行人　中島 裕志郎
●発行　全国酪農業協同組合連合会
〒108-0014　東京都港区芝四丁目17番5号
TEL 03-5931-8003
http://www.zenrakuren.or.jp/

くいしんぼうなうしさん
大野幼稚園（東北）5歳　鈴木 里桜

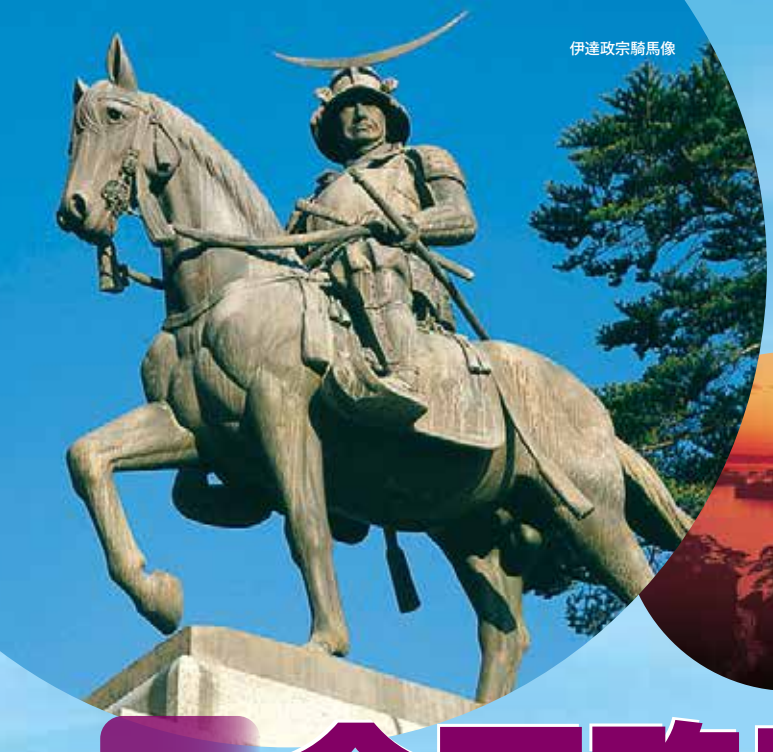
今月の らくのうこどもギャラリー 入賞作品紹介

今月の入選作品は、大野幼稚園（東北）５歳の鈴木 里桜ちゃんの作品です。
大きな牛さんが画面いっぱいに描けましたね。顔や足、しっぽなどを描いた白色の筆跡が心地よいです。斑紋の黒色もクレヨンの強弱や濃淡によってうまく描き分けられていますね。

※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第40回らくのうこどもギャラリー」で全国377点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催　全国酪農青年女性会議

主催　全国酪農青年女性会議/全国酪農業協同組合連合会


伊達政宗騎馬像

◀ 仙台七夕まつり

◀ 松島の日の出

五大堂 ▶

写真提供：宮城県観光課

第43回 全国酪農青年女性酪農発表大会 in 仙台

平成26年 7月17(木)・18(金)

日程

7月17日（木）

13：00～13：55	開会式
14：00～16：15	酪農経営発表
16：15～16：25	らくのうこどもギャラリー表彰式
16：40～18：15	酪農意見・体験発表
19：20～21：20	懇親会

7月18日（金）

9：00～9：30	酪農経営発表質疑応答
9：30～10：00	酪農意見・体験発表質疑応答
10：15～11：40	審査講評・表彰式
11：40～11：50	閉会式

大会参加費

1名　**13,000円**（大会・懇親会まで）

※宿泊につきましては、各地域会議事務局にお問い合わせください。

大会会場・アクセス

●会場

「ホテルメトロポリタン仙台」

〒980-8477 宮城県仙台市青葉区中央1丁目1-1
TEL 022-268-2525

●宿泊

「ホテルメトロポリタン仙台」又は「ホテルモントレ仙台」

［ホテルモントレ仙台］
〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央4丁目1-8 TEL.022-265-7110

■ 交通のご案内

●JR仙台駅 西口より徒歩1分
●仙台空港より仙台空港アクセス鉄道で約25分
●東北自動車道仙台宮城ICより県道仙台西道路線、車で約20分

［新幹線でお越しの場合］
2階（西口）からペデストリアンデッキを経て2階玄関へ

［地下鉄でお越しの場合］
地下鉄仙台駅南6番出口を経て1階正面玄関へ

［大会事務局］**全国酪農青年女性会議**　〒108-0014 東京都港区芝4-17-5 全酪連指導・企画部内 / TEL. 03-5931-8003